

I 2017（平成 29）年度「大学評価」の結果について

（１）大学基準協会の大学評価

本協会の大学評価は、「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」(公益財団法人 大学基準協会定款第３条)ことを目的として行われます。より具体的には、

- ① 本協会が定める大学基準に基づき大学の諸側面を包括的に評価することを通じて、大学の教育・研究活動等の質を社会に対し保証すること
- ② 大学評価の結果の提示ならびにその後の改善報告書の提出およびその検討というアフターケアを通じて、申請大学に設置される学部・研究科等を含む大学全体の改善を継続的に支援すること

という目的のもと行っています。

特に、社会に対して保証する「大学の質」については、当該大学が自身の掲げる理念や目的の達成に向けた活動を行っていること、自己点検・評価活動を改善へと結びつけ、自己改善を進めていくシステムが機能していることの２点を重視しています。

このため、いくつかの問題が認められるときには、大学基準に適合していると認定するものの、その適合認定の期間に制限を設けて「大学基準」に適合している（以下「期限付適合」という。）と判定し、その後の改善努力と成果を確認する場合があります。

大学評価における期限付適合の期間は３年間とし、その間のいずれかの年度に、期限付適合の原因となった事項について再評価を受けることが必要です。本協会は、当該問題事項の改善状況を評価し、大学基準への適合について改めて判定を行います。

また、「大学基準」に適合していない（以下「不適合」という。）との判定となった場合、翌年度又は翌々年度のいずれかの年度に、不適合の原因となった事項について追評価を申請することができます。

なお、本協会が 2004（平成 16）年に「認証評価機関」として文部科学大臣に認証されたことにより、本協会の大学評価を受けた大学は、学校教育法に基づく「認証評価」を受けたことになります。

（２）大学評価の組織体制

2017（平成 29）年度の大学評価においては、申請大学に対応して次のような組織体制を整え、具体的な審査・評価活動を行いました。

まず、「大学評価」の中心となる大学評価委員会（委員 30 名、幹事 6 名）の下に、48 の大学評価分科会と 1 の大学財務評価分科会を設置しました。

大学評価委員会において、委員は本協会正会員校から推薦された候補者、理事会の推薦による者、外部有識者の中から理事会が選出した者によって構成されています。幹事は大学評価委員会の推薦により、理事会で選出しており、大学評価分科会の運営を補佐するとともに、評価結果の原案を作成する役割を担っています。

大学評価分科会は、各大学の財務を除く諸活動全体を評価することを目的とし、1 大学

につき1つ設置されています。構成は主査と大学の規模・学部数などに応じた4人～10人の委員、幹事からなっています。

大学財務評価分科会（主査・委員あわせて10名）においては、大学財務評価の指標や方法の検討を行うとともに、分科会の下部に7の部会を設け、そこで評価された内容の調整を行いました。具体的には、公立大学（法人）については、申請7大学に対して2の国・公立大学部会（主査・委員あわせて7名）を設置して評価を行い、私立大学及び株式会社立大学については、申請41大学を、それぞれ設置する学部の種類に対応して設置した、5の私立大学部会（主査・委員あわせて20名）で、分担して、評価を行いました。

したがって、2017（平成29）年度の大学評価は、延べ231名の委員と6名の幹事がかわって行ったことになります（大学評価の組織体制については【資料1】、委員会、分科会、部会等の名簿については【資料2】参照）。

（3）2017（平成29）年度 大学評価（認証評価）への申請大学

（公法） 会津大学	（私立） 麻布大学
（私立） 追手門学院大学	（私立） 大阪学院大学
（公立） 香川県立保健医療大学	（私立） 神奈川歯科大学
（公法） 岐阜県立看護大学	（私立） 共立女子大学
（公立） 釧路公立大学	（私立） 恵泉女学園大学
（私立） 神戸学院大学	（私立） 国際基督教大学
（私立） 国際仏教学大学院大学	（公法） 札幌市立大学
（公法） 札幌医科大学	（私立） 事業構想大学院大学
（私立） 上武大学	（私立） 昭和女子大学
（私立） 白百合女子大学	（私立） 西南学院大学
（私立） 中部学院大学	（私立） 津田塾大学
（私立） 鶴見大学	（株立） デジタルハリウッド大学
（私立） 東海大学	（私立） 東京医科大学
（私立） 東京家政大学	（私立） 東京国際大学
（私立） 東北学院大学	（私立） 東洋学園大学
（私立） 獨協医科大学	（私立） 長崎純心大学
（公法） 新潟県立看護大学	（私立） 新潟産業大学
（私立） 日本大学	（私立） 日本赤十字豊田看護大学
（私立） 日本福祉大学	（私立） 兵庫医科大学
（私立） 弘前学院大学	（公法） 福知山公立大学
（私立） 文星芸術大学	（私立） 星薬科大学
（私立） 北海道医療大学	（私立） 北海道文教大学
（私立） 明星大学	（公法） 山口県立大学

(4) 大学評価の経過

① 書面による評価

上記分科会に関わる主査・委員は、評価者研修セミナーに参加した後、各大学の自己点検・評価の結果を取りまとめた点検・評価報告書及び大学基礎データ、その他根拠資料をもとに自らの評価所見をまとめ、それぞれの分科会に臨みました。各分科会では、各委員の評価所見をもとに主査あるいは委員が分担執筆した大学評価分科会報告書（原案）に基づき、書面による評価を行い、その結果を主査あるいは委員が分担執筆して大学評価分科会報告書（案）として取りまとめました。

② 大学評価における実地調査の実施

各分科会における書面評価終了後に大学評価申請のあった 48 大学のすべてに対して実地調査を実施しました。

実地調査の目的は、十分な資料・情報等を収集し、評価の正確性を期すことにあります。具体的には、書面評価の過程で発生した疑問点に関する質疑応答を行うとともに、大学全体での意見交換に加え、教職員個別の意見交換の時間を設け、大学と評価者間での十分なディスカッションを行いました。また、書面のみでは把握の難しかった施設・設備の状況などを実際に確認しました。さらに、各分科会の大学評価分科会報告書（案）をあらかじめ当該大学に提示し、実地調査の際に同案の記載内容についての確認の機会を設けました。あわせて学生インタビューや授業参観も行い、実地調査の実効性を高めることに努めました。

③ 大学評価委員会における評価結果（案）の作成

実地調査等の結果を反映させたうえで提出された各分科会の大学評価分科会報告書（最終版）をもとに、大学評価委員会正・副委員長・幹事会で作成した評価結果（委員長案）を大学評価委員会で審議し、委員会としての評価結果（委員会案）を作成しました。その後、同委員会案を当該大学に送付しました。

評価結果（委員会案）を受け取った大学は、事実誤認等があった場合、同委員会案に対して「意見申立」を行うことができます。今年度は、大学評価申請 48 大学中 30 大学から意見申立がなされました。大学評価委員会では、申請大学から提出された資料を中心に事実誤認の有無と意見申立の適否を審議し、評価結果（委員会案）に対して必要な修正を行いました。

④ 理事会による評価結果の承認

大学評価委員会が作成した評価結果（案）については、2018（平成 30）年 2 月 27 日開催の理事会に諮りました。その結果、2017（平成 29）年度に大学評価を申請した 48 大学すべての大学の評価結果について承認を得、本年度の大学評価が終了しました。

なお、2017（平成 29）年度に大学評価を受けた大学の評価結果の詳細内容については、「Ⅱ 各申請大学に対する評価結果」をご参照ください。

（５）大学評価結果の概要

① 大学評価（認証評価）の結果、大学基準への適合認定を行った大学

2017（平成 29）年度に大学評価（認証評価）を申請した 48 大学中、下記の 45 大学について大学基準に適合していると認定しました。

（公法） 会津大学	（私立） 麻布大学
（私立） 追手門学院大学	（私立） 大阪学院大学
（公立） 香川県立保健医療大学	（私立） 神奈川歯科大学
（公法） 岐阜県立看護大学	（私立） 共立女子大学
（公立） 釧路公立大学	（私立） 恵泉女学園大学
（私立） 神戸学院大学	（私立） 国際基督教大学
（私立） 国際仏教学大学院大学	（公法） 札幌市立大学
（公法） 札幌医科大学	（私立） 事業構想大学院大学
（私立） 上武大学	（私立） 昭和女子大学
（私立） 白百合女子大学	（私立） 西南学院大学
（私立） 中部学院大学	（私立） 津田塾大学
（私立） 鶴見大学	（株立） デジタルハリウッド大学
（私立） 東海大学	（私立） 東京医科大学
（私立） 東京家政大学	（私立） 東京国際大学
（私立） 東北学院大学	（私立） 東洋学園大学
（私立） 獨協医科大学	（私立） 長崎純心大学
（公法） 新潟県立看護大学	（私立） 日本大学
（私立） 日本赤十字豊田看護大学	（私立） 日本福祉大学
（私立） 兵庫医科大学	（公法） 福知山公立大学
（私立） 北海道医療大学	（私立） 星薬科大学
（私立） 明星大学	（私立） 北海道文教大学
（公法） 山口県立大学	（私立） 立教大学
（私立） ルーテル学院大学	

（大学名五十音順）

② 大学基準への適合認定を行った大学に対する提言

以上の 45 大学には、それぞれの一層の改善充実のため、本協会として「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」からなる提言を付しています。

「長所として特記すべき事項」を付した大学は 42 大学、「改善勧告」を付した大学は 23 大学、「努力課題」を付した大学は 45 大学となりました。各指摘は、申請資料に基づく書面評価や実地調査の結果に加え、前述の意見申立等による意見を参考に、実態に即した指摘となるよう留意しました。

「改善勧告」や「努力課題」を付された大学は、それぞれの指摘にかかわる改善状況について、改善報告書を取りまとめ、原則として 2021（平成 33）年 7 月末までに、これを本協会宛に提出することになります。

③ 大学評価（認証評価）の結果、期限付適合と判定した大学に対する提言

2017（平成 29）年度に大学評価（認証評価）を申請した 48 大学中、2 大学（新潟産業大学、文星芸術大学）については、本協会の大学基準に適合しているものの、いくつかの点で問題があるため、期限付で認定し、再評価を受けることを課すこととしました。

期限付適合と認定した大学に対しては、「長所として特記すべき事項」、「必ず実現すべき改善事項」、「一層の改善が期待される事項」などで構成される「大学に対する提言」を付すとともに、2021（平成 33）年までのいずれかの年度に再評価を受けるよう要請しました。

④ 大学評価（認証評価）の結果、不適合と判定した大学に対する提言

2017（平成 29）年度に大学評価を申請した 48 大学中 1 大学（弘前学院大学）については、「大学基準」に適合していないと判定されました。

不適合と判定した大学に対しては、「必ず実現すべき改善事項」「一層の改善が期待される事項」で構成される「大学に対する提言」を付すとともに、2021（平成 33）年までのいずれかの年度に追評価を申請できる旨を通知しました。

（6）改善報告書について

前述のとおり、本協会では、大学評価の結果、大学基準に適合している旨の認定を受けた大学に対して、必要に応じて「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」を付しています。「改善勧告」を付された大学は、これに誠実に対応し、早急に改善措置を講じる必要があります。また、「努力課題」を付された大学は、問題点として指摘された事項について十分に検討し、一層の改善に努める必要があります。

「改善勧告」もしくは「努力課題」が付された大学は、それらの事項について本協会が指定する期日までに改善報告書を提出することになっています。この改善報告書の制度は、本協会の大学評価の特色のひとつであり、改善報告書の評価を通じて、大学の改善・改革

を継続的に支援するための重要なシステムです。

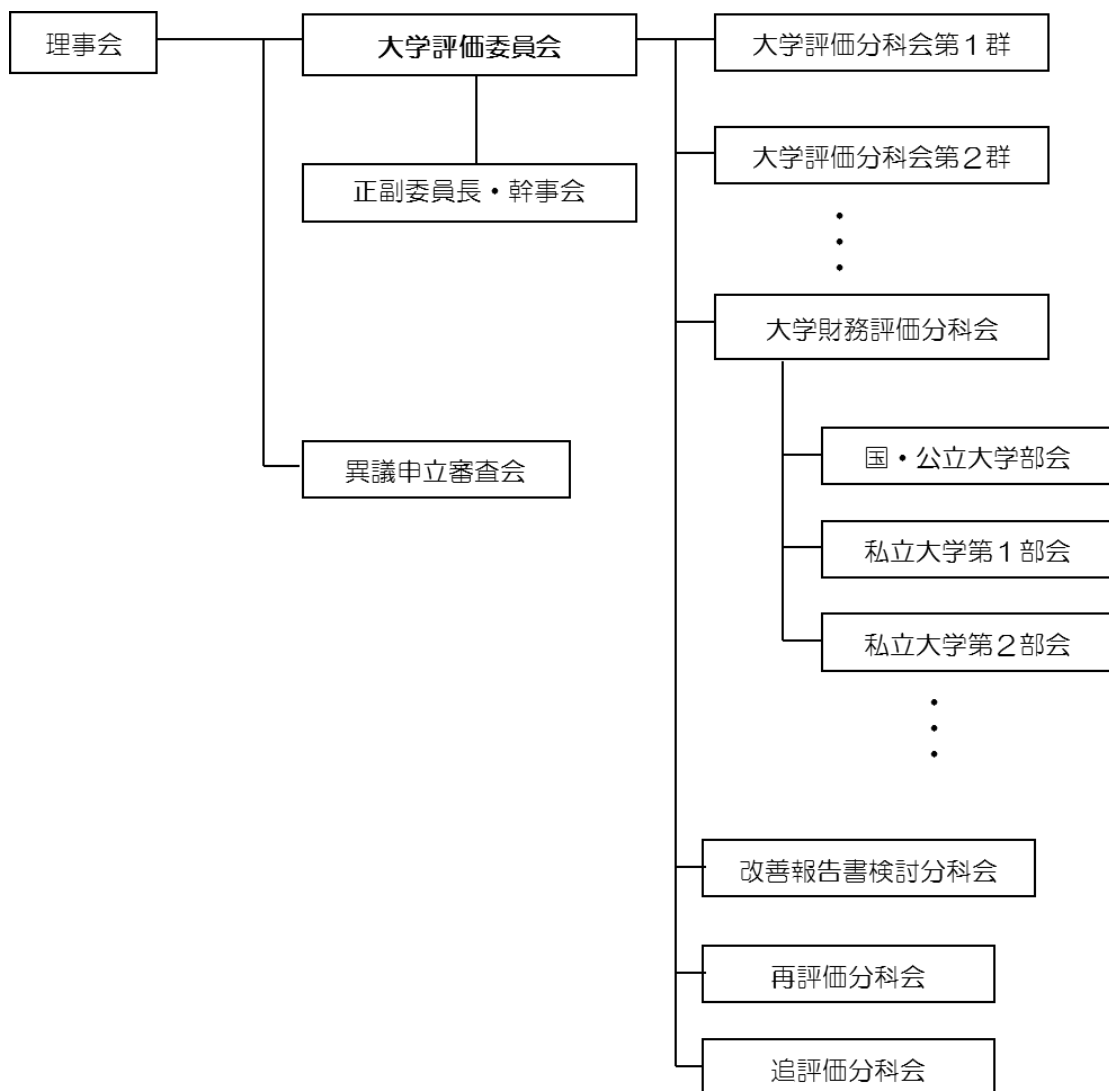
(7) 大学基準協会の評価の充実に向けて

多元的な大学評価システムが誕生しつつある中、2004（平成 16）年度より認証評価制度が開始されたことも踏まえ、現在、本協会は、これまで培ってきた実績をもとに、透明性・公正性の高い「第三者評価機関」として中心的な役割を果たすべく、大学評価システムの改善・充実に取り組んでいます。とりわけ、2011（平成 23）年度から、認証評価制度が第 2 期目を迎えたことを機に、これまでの「自己点検・評価の実施」から、大学自ら質を保証し、向上させるための継続的な努力とそれを社会一般に対していかに説明・証明しているのかという、「内部質保証システム」の構築と有効性を重視した新たな評価システムへと移行しました。また、評価基準の体系化、書面評価の方法や実地調査の充実をはじめとする評価プロセスについても見直し、改善を図るとともに、さまざまな検討を重ねています。

今後とも、大学基準協会は、社会の期待に応える大学評価を発展させる努力を行ってまいります。何とぞご支援いただきますようお願いいたします。

資 料 編

大学評価組織体制図



【資料2】

平成29年度 大学評価関係委員会等 名簿

(平成30年2月21日現在)

平成29年度 大学評価委員会 名簿

役 名	氏 名	所 属 名
委員長	浅 野 考 平	関 西 学 院 大 学
副委員長	木 村 彰 方	東 京 医 科 歯 科 大 学
委 員	新 井 泰 彦	関 西 大 学
委 員	石 原 慶 一	京 都 大 学
委 員	今 川 正 良	名 古 屋 市 立 大 学
委 員	小 野 祥 子	東 京 女 子 大 学
委 員	香 取 薫	青 森 公 立 大 学
委 員	黒 澤 隆 夫	北 海 道 医 療 大 学
委 員	小 林 浩	リクルート 『カレッジマネジメント』
委 員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委 員	柴 田 誠	東京都立大泉高等学校附属中学校 東京都立大泉高等学校
委 員	鈴 木 正 誠	元NTTコミュニケーションズ 株式会社
委 員	関 内 隆	東 北 大 学
委 員	高 野 敏 行	釧 路 公 立 大 学
委 員	竹 村 牧 男	東 洋 大 学
委 員	竹 村 泰 司	横 浜 国 立 大 学
委 員	千 田 亮 吉	明 治 大 学
委 員	塚 本 伸 一	立 教 大 学
委 員	津 曲 隆	熊 本 県 立 大 学
委 員	當 瀬 規 嗣	札 幌 医 科 大 学
委 員	飛 松 省 三	九 州 大 学
委 員	野 澤 康	工 学 院 大 学
委 員	長 谷 川 信	青 山 学 院 大 学
委 員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委 員	前 田 早 苗	千 葉 大 学
委 員	真 山 達 志	同 志 社 大 学

役 名	氏 名	所 属 名
委 員	丸 山 文 裕	広 島 大 学
委 員	水 谷 工	読 売 新 聞 大 阪 本 社
委 員	矢 島 基 美	上 智 大 学
委 員	吉 岡 俊 正	東 京 女 子 医 科 大 学
幹 事	川 崎 友 嗣	関 西 大 学
幹 事	佐 藤 賢 一	京 都 産 業 大 学
幹 事	白 川 優 治	千 葉 大 学
幹 事	高 田 英 一	神 戸 大 学
幹 事	野 崎 與 志 子	学 習 院 大 学
幹 事	半 田 勝 久	日 本 体 育 大 学

平成29年度 大学評価委員会 大学評価分科会 名簿

第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	津 曲 隆	熊 本 県 立 大 学
委員	能 上 慎 也	東 京 理 科 大 学
委員	宮 本 定 明	筑 波 大 学
委員	佐 藤 吉 孝	学 習 院 大 学

第 2 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	舟 川 晋 也	京 都 大 学
委員	小 川 博	東 京 農 業 大 学
委員	小 林 朋 道	公 立 鳥 取 環 境 大 学
委員	平 井 寿 明	立 教 大 学

第 3 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	小 野 祥 子	東 京 女 子 大 学
委員	大 西 比 呂 志	フェリス女学院大学
委員	樫 村 愛 子	愛 知 大 学
委員	田 中 正 郎	青 山 学 院 大 学
委員	立 岡 幸 一	成 城 大 学

第 4 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	矢 島 基 美	上 智 大 学
委員	須 崎 健 一	福 岡 工 業 大 学
委員	新 城 将 孝	沖 縄 大 学
委員	高 橋 知 也	亜 細 亜 大 学
委員	福 嶋 秩 子	新 潟 県 立 大 学
委員	石 黒 隆 文	学 校 法 人 青 山 学 院
幹事	高 田 英 一	神 戸 大 学

第 5 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	大 日 向 輝 美	札 幌 医 科 大 学
委員	真 壁 寿	山 形 県 立 大 学
委員	柳 井 圭 子	日 本 赤 十 字 学 院 大 学
委員	久 保 三 喜 男	京 都 橋 大 学

第 6 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	田 中 昭 男	大 阪 歯 科 大 学
委員	片 倉 朗	東 京 歯 科 大 学
委員	高 橋 信 博	東 北 大 学
委員	斎 藤 宏 充	同 志 社 女 子 大 学

第 7 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	角 濱 春 美	青 森 県 立 保 健 大 学
委員	松 谷 伸 二	北 里 大 学
委員	森 明 子	聖 路 加 国 際 大 学
委員	鹿 沼 行 央	東 京 家 政 大 学

第 8 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	豊 澤 弘 伸	宮 城 学 院 女 子 大 学
委員	上 村 俊 彦	長 崎 県 立 大 学
委員	古 賀 信 幸	中 村 学 園 大 学
委員	小 山 眞 理 子	日 本 赤 十 字 学 院 大 学
委員	恒 川 孝 司	名 古 屋 外 国 語 大 学

第 9 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	唐 澤 達 之	高 崎 経 済 大 学
委員	白 銀 良 三	国 士 館 大 学
委員	米 田 昇 平	下 関 市 立 大 学
委員	富 澤 賢 一	首 都 大 学 東 京

第 10 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	山 神 進	立 命 館 ア ジ ア 太 平 洋 大 学
委員	高 橋 泉	仙 台 白 百 合 女 子 大 学
委員	名 畑 嘉 則	藤 女 子 大 学
委員	長 谷 川 順 子	佛 教 大 学

第 11 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	丸 山 文 裕	広 島 大 学
委員	神 田 信 彦	文 教 大 学
委員	小 山 明 宏	学 習 院 大 学
委員	酒 巻 利 行	新 潟 薬 科 大 学
委員	寺 西 利 生	藤 田 保 健 衛 生 大 学
委員	星 野 智	中 央 大 学
委員	佐 野 知 子	東 京 女 子 大 学
幹事	半 田 勝 久	日 本 体 育 大 学

第 12 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	関 内 隆	東 北 大 学
委員	川 岸 郁 朗	法 政 大 学
委員	中 村 奈 良 江	西 南 学 院 大 学
委員	吉 門 敬 二	京 都 産 業 大 学

第 13 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	赤 松 明 彦	京 都 大 学
委員	安 藤 嘉 則	駒 沢 女 子 大 学
委員	山 極 伸 之	佛 教 大 学
委員	岡 田 治 之	大 谷 大 学

第 14 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	三 浦 宜 彦	公 立 大 学 法 人 埼 玉 県 立 大 学
委員	新 井 清 一	京 都 精 華 大 学
委員	萱 間 真 美	聖 路 加 国 際 大 学
委員	三 浦 良 夫	女 子 美 術 大 学

第 15 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	飛 松 省 三	九 州 大 学
委員	秋 元 義 弘	杏 林 大 学
委員	中 川 昭 夫	神 戸 学 院 大 学
委員	津 田 典 幸	名 古 屋 市 立 大 学

第 16 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	千 田 亮 吉	明 治 大 学
委員	長 瀬 勝 彦	首 都 大 学 東 京
委員	日 高 一 義	東 京 工 業 大 学
委員	浜 田 行 弘	関 西 学 院 大 学

第 17 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	廣 瀬 克 哉	法 政 大 学
委員	網 島 ひ づ る	兵 庫 医 療 大 学
委員	上 野 博	東 京 国 際 大 学
委員	佐 野 文 彦	中 京 大 学

第 18 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	寄 本 明	京 都 女 子 大 学
委員	鈴 木 元	熊 本 県 立 大 学
委員	関 口 理 久 子	関 西 大 学
委員	村 田 あ が	跡 見 学 園 女 子 大 学
委員	竹 田 浩 康	梶 山 女 学 園 大 学

第 19 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	倉 持 祐 二	京 都 橘 大 学
委員	川 合 悟	帝 塚 山 大 学
委員	中 村 昌 弘	神 戸 女 学 院 大 学
委員	西 直 美	熊 本 学 園 大 学

第 20 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委員	小 西 啓 史	武 蔵 野 大 学
委員	樋 口 清 秀	早 稲 田 大 学
委員	耳 野 健 二	京 都 産 業 大 学
委員	向 井 秀 忠	フェリス女学院大学
委員	鈴 木 弘 一	法 政 大 学
幹事	白 川 優 治	千 葉 大 学

第 21 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	下 山 昭 夫	淑 徳 大 学
委員	末 廣 英 生	神 戸 大 学
委員	中 村 光 江	日 本 赤 十 字 九 州 国 際 看 護 大 学
委員	渡 邊 賢 二	皇 學 館 大 学
委員	根 本 和 彦	津 田 塾 大 学

第 22 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	高 橋 雅 人	神 戸 女 学 院 大 学
委員	池 田 敏 和	横 浜 国 立 大 学
委員	庄 司 宏 子	成 蹊 大 学
委員	坂 口 浩 隆	中 村 学 園 大 学

第 23 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	佐 藤 啓 二	愛 知 医 科 大 学
委員	一 戸 達 也	東 京 歯 科 大 学
委員	福 本 幸 之	龍 谷 大 学
委員	星 和 徳	名 古 屋 学 院 大 学

第 24 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	野 澤 康	工 学 院 大 学
委員	猪 股 俊 光	岩 手 県 立 大 学
委員	佐 藤 拓 朗	早 稲 田 大 学
委員	渡 辺 賢 二	東 京 理 科 大 学

第 25 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	石 原 慶 一	京 都 大 学
委員	伊 藤 恭 彦	名 古 屋 市 立 大 学
委員	小 田 啓 二	神 戸 大 学
委員	鈴 木 敬 一 郎	兵 庫 医 科 大 学
委員	寺 澤 浩 樹	文 教 大 学
委員	内 藤 久 士	順 天 堂 大 学
委員	西 原 宏	福 岡 大 学
委員	浜 本 牧 子	明 治 大 学
委員	三 上 明 義	金 沢 工 業 大 学
委員	西 村 豊	龍 谷 大 学
幹事	野 崎 與 志 子	学 習 院 大 学

第 26 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	黒 澤 隆 夫	北 海 道 医 療 大 学
委員	武 藤 弘 行	自 治 医 科 大 学
委員	山 田 紀 代 美	名 古 屋 市 立 大 学
委員	生 野 昭 雄	新 潟 薬 科 大 学

第 27 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	雨 宮 勇	梶 山 女 学 園 大 学
委員	坂 本 辰 朗	創 価 大 学
委員	丹 佳 子	山 口 県 立 大 学
委員	寺 田 貴 子	活 水 女 子 大 学
委員	井 上 泰 則	藤 女 子 大 学

第 28 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	赤 堀 雅 幸	上 智 大 学
委員	井 出 多 加 子	成 蹊 大 学
委員	大 庭 千 恵 子	広 島 市 立 大 学
委員	芳 賀 康 朗	皇 學 館 大 学
委員	安 田 政 志	帝 塚 山 大 学

第 29 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	長 谷 川 信	青 山 学 院 大 学
委員	小 澤 守	関 西 大 学
委員	高 野 晴 代	日 本 女 子 大 学
委員	山 下 竜 一	北 海 道 大 学
委員	山 本 雄 吾	名 城 大 学
委員	山 田 浩 哉	明 治 大 学

第 30 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	花 田 洋 一 郎	西 南 学 院 大 学
委員	長 田 久 雄	桜 美 林 大 学
委員	高 梨 芳 郎	名 古 屋 外 国 語 大 学
委員	飛 田 幸 宏	白 鷗 大 学
委員	藤 田 由 典	関 西 大 学

第 31 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	當 瀬 規 嗣	札 幌 医 科 大 学
委員	大 越 扶 貴	三 重 県 立 看 護 大 学
委員	野 村 昌 作	関 西 医 科 大 学
委員	菅 原 光 則	神 奈 川 歯 科 大 学

第 32 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	北 村 和 夫	聖 心 女 子 大 学
委員	難 波 雅 紀	実 践 女 子 大 学
委員	平 田 乃 美	白 鷗 大 学
委員	植 村 亜 由 美	フェリス女学院大学

第 33 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	二 宮 啓 子	神 戸 市 看 護 大 学
委員	井 上 ひ と み	獨 協 医 科 大 学
委員	林 辰 弥	三 重 県 立 看 護 大 学
委員	黒 田 幸 司	杏 林 大 学

第 34 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	高 野 敏 行	釧 路 公 立 大 学
委員	池 内 秀 己	九 州 産 業 大 学
委員	河 合 康 夫	武 蔵 大 学
委員	木 村 健 悟	中 央 大 学

第 35 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	真 山 達 志	同 志 社 大 学
委員	秋 田 恵 一	東 京 医 科 歯 科 大 学
委員	久 保 田 浩 司	北 里 大 学
委員	鈴 木 国 男	共 立 女 子 大 学
委員	鷹 野 一 朗	工 学 院 大 学
委員	日 比 野 康 英	城 西 大 学
委員	平 栗 健 二	東 京 電 機 大 学
委員	藤 井 一 弘	青 森 公 立 大 学
委員	宮 脇 正 晴	立 命 館 大 学
委員	志 渡 澤 登	福 岡 大 学
幹事	川 崎 友 嗣	関 西 大 学

第 36 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	島 袋 香 子	北 里 大 学
委員	加 藤 英 世	杏 林 大 学
委員	河 原 宣 子	京 都 橘 大 学
委員	南 里 竜 生	関 東 学 院 大 学

第 37 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	塚 本 伸 一	立 教 大 学
委員	岡 本 拓 子	高崎健康福祉大学
委員	渋谷 哲	淑 徳 大 学
委員	花 田 昌 宣	熊 本 学 園 大 学
委員	林 千 冬	神 戸 市 看 護 大 学
委員	永 間 広 宣	早 稲 田 大 学

第 38 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	吉 田 謙 一 郎	獨 協 医 科 大 学
委員	安 達 洋 祐	久 留 米 大 学
委員	横 山 仁	金 沢 医 科 大 学
委員	平 野 崇 雄	北 里 大 学

第 39 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	竹 村 泰 司	横 浜 国 立 大 学
委員	高 田 早 苗	日本赤十字看護大学
委員	中 嶋 真 也	駒 澤 大 学
委員	野 島 一 彦	跡見学園女子大学
委員	齋 藤 真 左 樹	日 本 福 祉 大 学

第 40 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	香 取 薫	青 森 公 立 大 学
委員	小 笠 原 伸	白 鷗 大 学
委員	関 田 康 慶	東 北 福 祉 大 学
委員	羽 染 宗 昌	筑 波 大 学

第 41 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	前 田 早 苗	千 葉 大 学
委員	川 口 吾 妻	女 子 美 術 大 学
委員	山 崎 剛	金沢美術工芸大学
委員	松 本 正 光	文 教 大 学

第 42 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	石 川 智 久	静 岡 県 立 大 学
委員	谷 口 雅 彦	大 阪 薬 科 大 学
委員	中 山 尋 量	神 戸 薬 科 大 学
委員	鈴 木 英 二	北 海 道 医 療 大 学

第 43 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	吉 岡 俊 正	東京女子医科大学
委員	本 庄 恵 子	日本赤十字看護大学
委員	西 村 英 紀	九 州 大 学
委員	吉 尾 隆	東 邦 大 学
委員	桑 原 克 也	学校法人 獨協学園

第 44 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	赤 井 孝 雄	杏 林 大 学
委員	鈴 木 達 也	南 山 大 学
委員	中 西 純 子	愛媛県立医療技術大学
委員	松 岡 尚 志	創 価 大 学

第 45 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	新 井 泰 彦	関 西 大 学
委員	鈴 木 孝 至	広 島 大 学
委員	中 村 哲 也	岐阜聖徳学園大学
委員	宮 崎 信 二	名 城 大 学
委員	山 崎 洋 史	昭 和 女 子 大 学
委員	平 山 崇	西 南 学 院 大 学

第 46 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	今 川 正 良	名 古 屋 市 立 大 学
委員	岩 畑 貴 弘	神 奈 川 大 学
委員	太 田 克 矢	長 野 県 看 護 大 学
委員	三 浦 俊 二	東 北 福 祉 大 学
委員	佐 々 木 誠	秋 田 県 立 大 学

第 47 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	竹 村 牧 男	東 洋 大 学
委員	北 川 清 一	明 治 学 院 大 学
委員	黒 田 浩 一 郎	龍 谷 大 学
委員	坂 井 誠	中 京 大 学
委員	佐 藤 智 司	千 葉 大 学
委員	畠 田 公 明	福 岡 大 学
委員	古 川 靖 洋	関 西 学 院 大 学
委員	花 嶋 と み 子	神 奈 川 大 学
幹事	佐 藤 賢 一	京 都 産 業 大 学

第 48 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	中 村 信 次	日 本 福 祉 大 学
委員	田 中 信 市	東 京 国 際 大 学
委員	中 山 慎 吾	鹿 児 島 国 際 大 学
委員	岡 田 悦 夫	神 戸 学 院 大 学

平成29年度 大学財務評価分科会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	小 川 浩 幸	法 政 大 学
委員	井 倉 博	学 校 法 人 近畿大学
委員	尾 浪 英 人	学 校 法 人 学 習 院
委員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委員	徳 田 守	学校法人 金沢工業大学
委員	豊 田 耕 三	学 校 法 人 立 命 館
委員	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学
委員	松 本 香	公認会計士松本香事務所
委員	山 田 憲 男	学校法人 日本女子大学
委員	吉 田 和 生	名 古 屋 市 立 大 学

※主査については、2017（平成29）年9月末まで

平成29年度 大学財務評価分科会 国・公立大学部会名簿

第 1 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	吉 田 和 生	名古屋市立大学
委員	佐 藤 知 久	静岡県立大学
委員	永 津 美 裕	北九州市立大学
委員	渡 部 芳 栄	岩手県立大学

第 2 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	福 田 直 史	高知工科大学
委員	佐 藤 修 二	宮城教育大学
委員	森 中 栄	公立鳥取環境大学

平成29年度 大学財務評価分科会 私立大学部会名簿

第 1 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	井 倉 博	学校法人 近畿大学
委員	栗 林 武 郎	学校法人 慶應義塾
委員	平 井 雪 恵	学校法人 立教学院
委員	真 壁 泰 夫	学校法人 北里研究所

第 2 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	徳 田 守	学校法人 金沢工業大学
委員	永 和 田 隆 一	学校法人 神奈川大学
委員	平 野 勝 則	学校法人 青山学院
委員	望 月 肇	学校法人 工学院大学

第 3 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	豊 田 耕 三	学校法人 立命館
委員	和 泉 巧	学校法人 東京理科大学
委員	杉 崎 正 彦	学校法人 國學院大學
委員	高 橋 一 夫	学校法人 日本大学

第 4 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	尾 浪 英 人	学校法人 学習院
委員	岡 部 雅 人	岡部公認会計士事務所
委員	駒 板 高 明	学校法人 東北学院
委員	山 本 真 之	学校法人 津田塾大学

第 5 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	山 田 憲 男	学校法人 日本女子大学
委員	大 庭 慎 二	学校法人 早稲田大学
委員	佐 藤 均	学校法人 獨協学園
委員	山 口 数 宏	学校法人 同志社

【資料 3】

平成 29 度 大学評価のスケジュール

2017（平成 29）年度 大学評価は以下の手順でとり行った。

2017 年	1 月 13 日	申請大学より大学評価申請書の提出
	3 月 6 日	第 38 回大学評価委員会開催（平成 29 年度大学評価に関する検討）
	4 月 1 日	申請大学より大学評価関連資料の提出
	4 月 15 日	第 39 回大学評価委員会開催（平成 29 年度大学評価に関する検討）
	5 月中旬	評価者研修セミナーの開催（平成 29 年度の評価の概要及び主査・委員が行う作業の説明）
	5 月中旬 ～ 6 月下旬	主査及び委員による申請大学に対する評価所見の作成
	5 月 30 日	第 1 回大学財務評価分科会の開催
	7 月中旬 ～ 8 月下旬	大学評価各分科会報告書（原案）の作成（各委員の評価所見の統合） 大学評価各分科会の開催（分科会報告書（案）の作成）
	7 月 31 日	第 2 回大学財務評価分科会の開催（分科会報告書（案）の作成）
	8 月中旬～	分科会報告書（案）の申請大学への送付
	9 月下旬 ～ 10 月下旬	各申請大学に対する実地調査の実施、 その後、分科会報告書の完成
	11 月 2 日	第 3 回大学財務評価分科会の開催
	11 月 11 日 ～ 12 日	第 14 回大学評価委員会正・副委員長・幹事会の開催（分科会報告書をもとに「評価結果」（委員長案）を作成）
	12 月 15 日 ～ 16 日	第 40 回大学評価委員会の開催（「評価結果」（委員長案）の検討）
	12 月下旬	「評価結果」（委員会案）の申請大学への送付
2018 年	2 月 10 日	第 41 回大学評価委員会の開催（大学から提示された意見を参考に「評価結果」（委員会案）を修正し、「評価結果」（最終案）を作成）
	2 月 27 日	第 513 回理事会の開催（「評価結果」（最終案）の承認）